

(13) 吹通川河口

1) 第1回調査(平成27年7月11日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-62に示した。調査日には降雨が確認されなかったが前日には台風による38.5mmの降雨が確認されており、降雨後の陸域調査として実施した。

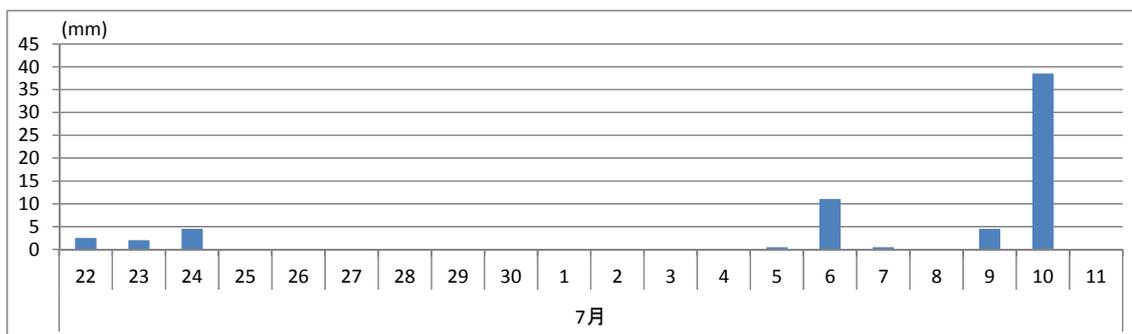


図 4.4-62 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-63 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

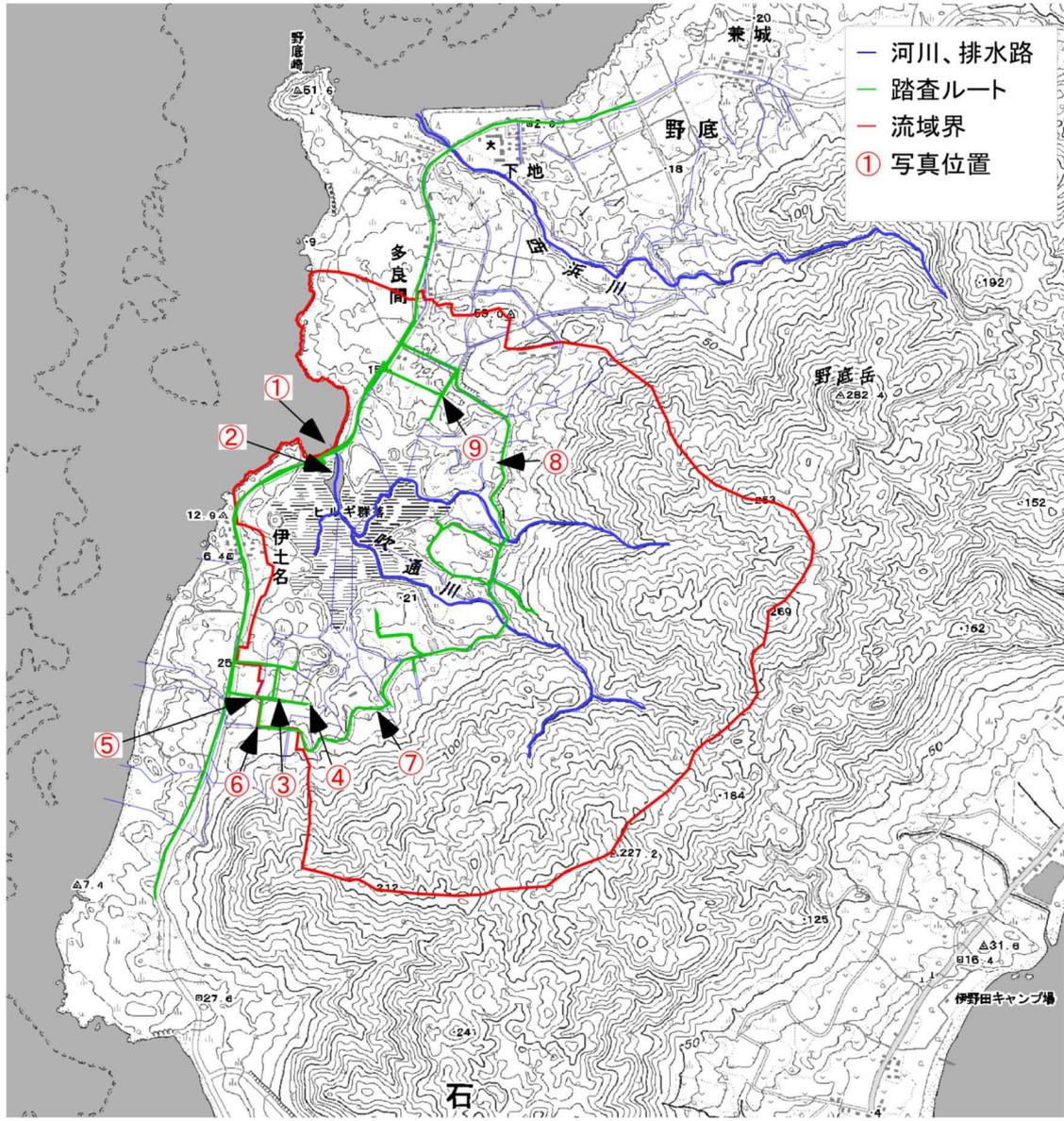


図 4.4-63 吹通川河口 陸域調査概要 (1 回目)

- ・河口部において、濁りは確認されなかった(地点①②)。本調査時程度の降雨では、濁水の流出は無いと考えられる。



地点① 河口域(濁り無し)



地点② 河口域(濁り無し)

- ・昨年度から赤土等の流出が懸念されている地点について、地点③では裸地が目立ち道路への赤土流出が確認され、地点④では草本が茂っており、変化が無く、更なる流出は確認されなかった。



地点③ 道路への流出状況(悪化)



地点③ 昨年度状況(H26年度2回目)



地点④ 道路への流出状況(変化無し)



地点④ 昨年度状況(H26年度2回目)

- 地点⑤⑥では、裸地の目立つ畑から側溝への赤土流出痕が確認された。本調査時には、水が流れていなかったが、激しい降雨時には畑から濁水が流出する可能性が高いと考えられる。



地点⑤ 畑から側溝への流出痕



地点⑥ 畑から側溝への流出痕

- 昨年度調査時に確認された土砂崩れのあった箇所では、昨年度と比べ、多少草本が生えていたものの、側溝を埋めている状況などには変化が無く、道路への流出は前回よりも顕著であった(地点⑦)。



地点⑦ 周辺への流出痕



地点⑦ 昨年度状況(H26 年度 2 回目)

- 流域内の畑には、一部大規模な裸地が確認された(地点⑧⑨)。外周には草本が茂っており、また、勾配も無いため、激しい降雨の際も流出する可能性は低いと考えられる。



地点⑧ 大規模裸地



地点⑨ 大規模裸地

2) 第2回調査(平成28年3月1日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-64に示した。調査日当日には雨が降らなかったため、平常時の陸域調査として実施した。

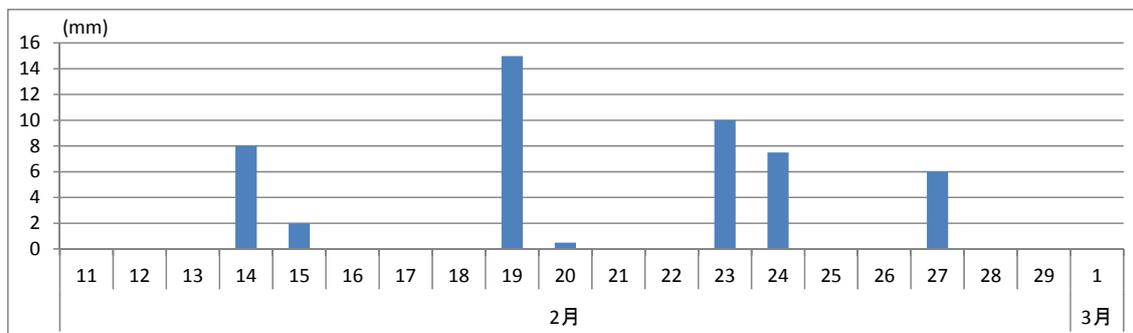


図 4.4-64 調査日前20日間の降雨状況(伊原間観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-65 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

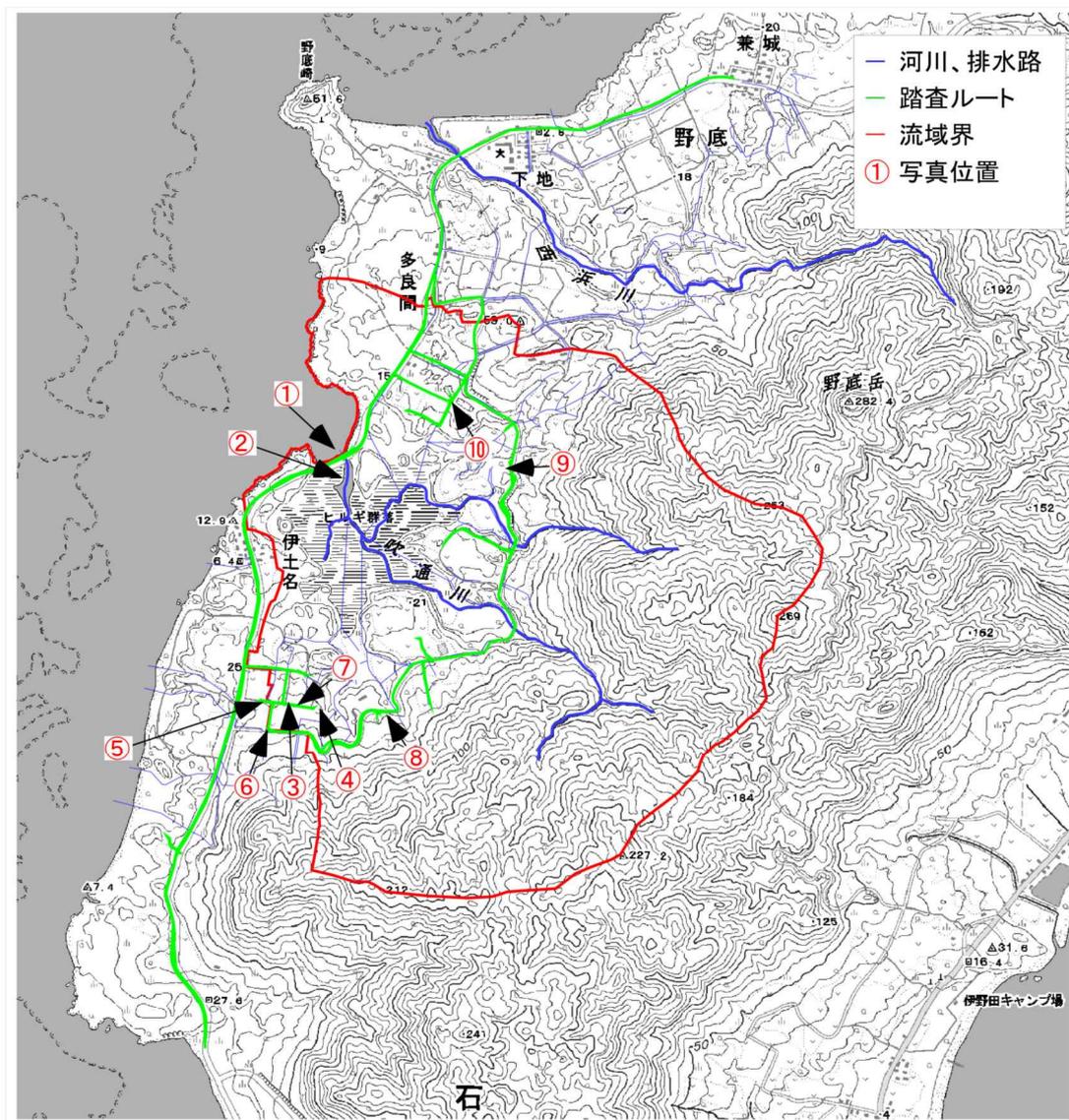


図 4.4-65 吹通川河口 陸域調査概要 (2 回目)

- ・ 河口部において、濁りは確認されなかった(地点①②)。



地点① 河口域(濁り無し)



地点② 河口域(濁り無し)

- ・ 昨年度から確認されている地点について、
 地点③では、裸地が目立つようになり、道路への赤土等流出が増加していた。
 地点④では、前回調査時より赤土が、道路へ流出・堆積していた。



地点③ 道路への流出状況(悪化)



地点③ 前回状況



地点④ 道路への流出状況(悪化)



地点④ 前回状況

- ・ 前回調査時に側溝への赤土流出痕が確認された地点⑤では、マルチングが行われており、流出可能性は減少した。また、地点⑥では、裸地面積が増加し、赤土流出可能性が増加した。また新規に水路や道路へ赤土が多量に流出していた畑が確認された(地点⑦)。



地点⑤ 水路へ赤土流出()



地点⑤ 前回状況



地点⑥ 畑から側溝への流出痕(悪化)



地点⑥ 前回状況



地点⑦ 畑から側溝や道路への流出

- ・昨年度調査時に確認された土砂崩れのあった箇所では、前回状況と比べ、土砂量が増えており、側溝を埋めている状況などには変化が無く、道路への流出は前回よりも顕著であった(地点⑧)。



地点⑧ 土砂流出(悪化)



地点⑧ 前回状況(前回地点⑦)

- ・前回調査時に大規模な裸地が確認された地点⑨では、裸地が目立ち変化は見られなかった。また地点⑩では牧草が茂っており、裸地は大きく減少した。どちらの地点においても外周には草本が茂っており、また、勾配も無いため、激しい降雨の際も流出する可能性は低いと考えられる。



地点⑨ 大規模裸地(変化無し)



地点⑨ 前回状況(地点⑧)



地点⑩ 大規模裸地(改善)



地点⑩ 前回状況(地点⑨)